

ふだんの くらしを しあわせに



皆で考えよう！地域の福祉

木津町地域 はなそう会ご報告



【主催】木津川市・木津川市社会福祉協議会

令和8年10月4日（日）中央交流会館（いずみホール）多目的ホールにて、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためのアイデアなどを気軽に出し合っていただく「はなそう会」を開催しました。住民の皆様からのご意見(抜粋)をご報告させていただきます。

木津町地域の良いところは？

- ・木津駅から近く、バスが3路線ある
- ・暮らしやすく、住みやすい地域
- ・地域住民の防災等の意識が高い
- ・住民の方が協力的で、活発に行動してくれる
- ・コミュニケーションも活発
- ・地域のイベントが多い
- ・若い世代が多い

木津町地域で困っているところは？

- ・自治会や町内会がない地域がある
- ・自治会員が減っており、担い手も少ない
- ・新旧の住民同士のコミュニケーションが少ない
- ・浸水の恐れがあり、災害時が心配
- ・高齢者の移動手段がない
- ・住民同士の話し合いの場があまりない
- ・活動が少ない地域もある

これからどのようなまちにしたいですか？

- ・自治会に入りたい人が入れる地域
- ・災害、犯罪のない安心して住める街づくり
- ・気楽に話ができる地域
- ・今の良いところを継続できる地域
- ・お互いに声掛けができる地域
- ・河川を活用して散歩できる地域
- ・助け合える地域

木津町地域を良くするためにできることは？

- ・おかえり。こんにちは等の日頃の声掛け
- ・地域全体で河川の環境美化や草刈りをする
- ・昔ながらの行事やイベントの活用
- ・健康でいること（体操等の実施）
- ・子どもの見守りを続けていく
- ・高校生と一緒に活動していけたら
- ・eスポーツを使った地域作り

木津町地域は、木津駅やバスなどの交通アクセスが良く、周辺施設や店舗も充実したとても暮らしやすいまちです。また、日頃から顔の見える関係性が築かれており、防災意識の高さや温かいご近所付き合い、地域活動に協力的な住民の皆さんの存在など、たくさんの魅力にあふれています。一方で、自治会の高齢化や担い手不足、世代間や新旧住民間の交流機会の少なさ、さらには水害などの災害に対する不安の声も上がりました。

今回の地域懇談会では、気楽に話せる関係づくりや多世代での関わり、災害に強い助け合えるまちづくりを目指し、日常の挨拶や「おかえり」といった声掛け、河川の清掃活動、伝統行事やイベントの活用などについて、活発な意見交換が行われました。地域のために何かしたいという思いを持つ皆さんが集まり、大変活気のある話し合いの場となりました。私たち社会福祉協議会も、地域の皆さんと共に、誰もが安心して暮らせるまちを目指して歩んでいきたいと思います。

「はなそう会」参加者の感想

1. ワークショップによる感想

- 参加者のいろいろな意見を聞けて参考になった。
- 今回の「はなそう会」の内容で良かった。
- もっと多くの参加者を増やす取り組みが必要。
- 地域の実情を知ることができた。
- 昔の話を聞けて木津町地域の歴史も少し知ることができた。
- この範囲でも知らないところがあると思いました。
- 今まで子育てに忙しくあまり考えたことがなかった「地域」についてゆっくり周辺を見渡しなが
ら今ならできることをやっていきたいと思いました。
- 地域を知れたこと（過去の歴史も）とても楽しかったです。また機会があれば参加したいです。
お祭りは参加してみたいと思いました。
- 木津町地域の中が良く理解できました。
- 井関川の草刈り（川の中の草）土木事務所に刈っていただきたい。
- 地域の問題点を話し合うことはいいことだと思う。住み良い木津町区から木津川市へ
と・・・・・・・・
- 一般の人がこのような場に来てもらえるような取り組みが必要では！
- 木津町区のはなそう会に参加でき、現状を知ることや困っていることが話せてよかったです。理
想とする地域に少しでも近づければと思います。

2. 個別にいただいた感想（1名の方からいただきました。）

- 今回の「木津町地域 話そう会」に参加し、改めて地域について考える良い機会になりました。

「木津町地域の良いところ」では、地域の行事が多いことや防災意識が高いこと、公園が多いことなど、普段暮らしている中では当たり前感じていたことが、地域の大切な財産であることに気づきました。

一方で、少子高齢化や自治会員の減少、昔からの地域と新しくできた集合住宅との交流の少なさなど、これから考えていかなければならない課題も改めて認識しました。

「どのような地域にしたいか」という話し合いの中で、「コミュニケーションの取れる地域」「顔見知りのいる地域」という言葉が印象に残りました。

他の自治会長の方から、毎朝や子どもたちの下校時に見守り活動をされているというお話を聞きました。子どもたちが成長していく姿を見守りながら、子どもたちからの大きな声の挨拶を嬉しく感じておられることを知り、長く地域を支えてこられていることに、感謝と尊敬の気持ちを持ちました。

地域のつながりというと、何か大きな活動をしなけなければならないように考えてしまいましたが、日頃から町内で挨拶をすること、回覧板を通して顔を合わせること、ちょっとした声かけをすることなど、一人ひとりの小さな関わりが「顔見知り」を増やし、安心して暮らせる地域につながっていくのではないかと感じました。

今回の話し合いをきっかけに、自治会だけで何とかしようとするのではなく、地域に住む一人ひとりが無理なく参加できることから始め、「ここに住んでいてよかった」と思える木津町地域を皆さんと一緒につくっていけたらと思います。